

PCI ボックス

プロダクトノート

SPARC Enterprise M4000/M5000/
M8000/M9000 サーバ版

Copyright © 2007, 2010 富士通株式会社 All rights reserved.

本書には、オラクル社および / またはその関連会社により提供および修正された技術情報が含まれています。

オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的所有権を所有または管理しています。これらの製品、技術、および本書は、著作権法、特許権などの知的所有権に関する法律および国際条約により保護されています。

本書およびそれに付随する製品および技術は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社およびそのライセンサーの書面による事前の許可なく、このような製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本製品またはそれに付随する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は、オラクル社および富士通株式会社の一部、あるいはそのいずれかの関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも示すものでもありません。

本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、または提供者からオラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社へライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

GPL または LGPL が適用されたソースコードの複製は、GPL または LGPL の規約に従い、該当する場合に、お客様からのお申し込みに応じて入手可能です。オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社にお問い合わせください。

この配布には、第三者が開発した構成要素が含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに由来しています。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。

富士通および富士通のロゴマークは、富士通株式会社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、オラクル社および / またはその関連会社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

SPARC64 は、Fujitsu Microelectronics, Inc. および富士通株式会社が SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

United States Government Rights - Commercial use. U.S. Government users are subject to the standard government user license agreements of Oracle and/or its affiliates and Fujitsu Limited and the applicable provisions of the FAR and its supplements.



免責条項：本書または本書に記述されている製品や技術に関してオラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に規定されている保証に限ります。このような契約で明示的に規定された保証を除き、オラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。このような契約で明示的に規定されていないかぎり、オラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社は、いかなる法理論もとの第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

本書は、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。

目次

はじめに vii

技術サポート vii

マニュアル公開ウェブサイト vii

マニュアルへのフィードバック viii

1. PCIボックス プロダクトノート 1

サポートされているハードウェア、ファームウェアおよびソフトウェア 1

パッチに関する情報 2

機能に関する問題 2

既知の問題 2

電源異常後、電源ユニットが自動的に再投入されない 2

その他の既知の問題 3

解決済みの問題 5

ホットプラグ操作に関する注意事項 8

マニュアルの変更予定 8

はじめに

本書では、PCIボックスのハードウェア、ソフトウェア、および出版後に見つかったドキュメントに関する最新の情報を説明します。

ここでは、以下の項目について説明します。

- [技術サポート](#)
- [マニュアル公開ウェブサイト](#)
- [マニュアルへのフィードバック](#)

技術サポート

PCIボックスのドキュメントで取り上げられていない技術上の問題または質問がありましたら、営業担当者または当社技術員までご連絡ください。

マニュアル公開ウェブサイト

PCIボックスのインストレーション、管理、使用のための手順は、PCIボックス関連のマニュアルに示されています。PCIボックス関連のマニュアルは、以下のウェブサイトからダウンロード可能です。

日本語サイト

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

グローバルサイト

<http://www.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

注 – 本書で説明する情報は、PCIボックス関連のマニュアルの情報よりも優先されません。

Oracle Solaris OSなどのSun Oracle製ソフトウェア関連マニュアル

<http://docs.sun.com/>

マニュアルへのフィードバック

本書に関するご意見、ご要望がございましたら、次のURLからお問い合わせください。

SPARC Enterpriseマニュアルのサイト:

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

PCI ボックス プロダクトノート

本書では、PCI ボックス、ソフトウェア、および出版後に見つかったドキュメントに関する最新の情報を説明します。

本書は、以下の項目で構成されています。

- サポートされているハードウェア、ファームウェアおよびソフトウェア
- 機能に関する問題
- マニュアルの変更予定

サポートされているハードウェア、ファームウェアおよびソフトウェア

本リリースでは、次に示すハードウェア、ファームウェアおよびソフトウェアがサポートされています。

- SPARC Enterprise M4000/M5000/M8000/M9000 サーバ
- XSCF Control Package (XCP) 1041 以降

ご使用のサーバに XCP1041 より古い版数のXCPがインストールされている場合は、XCP 1041 以降にアップデートする必要があります。XCPのアップデート方法については、ご使用のサーバのプロダクトノートを参照してください。

- Oracle Solaris 10 11/06 以降の Oracle Solaris オペレーティングシステム (Oracle Solaris OS)

パッチに関する情報

ご使用のサーバを正しく運用するために、パッチが必要となる場合があります。ご使用のサーバに対する必須パッチを適用してください。詳細な情報については、ご使用のサーバに対応したプロダクトノートを参照してください。

機能に関する問題

ここでは、PCI ボックスに関する既知の問題を示します。

注 - PCI ボックスに関する追加情報が、Oracle Solaris OS のリリースノートまたはご使用のホストサーバのプロダクトノートに掲載されている場合があります。

既知の問題

電源異常後、電源ユニットが自動的に再投入されない

AC 電源が 55 秒以上絶たれた場合、復電時に電源ユニットが自動的に再投入されないことがあります。これは、AC 電源コードが一時的に引き抜かれた場合、または AC ブレーカーへの AC 電源が一時的に絶たれた場合に発生します。この問題が発生した場合、AC 電源コードを再び差し込んだとき、または AC ブレーカーに AC 電源が復電したとき、電源ユニット前面にある AC Power LED は点灯しますが、DC Power LED は消灯したままとなります。

注 - 電源ユニットの電源スイッチを手動でオフ、オンする場合は、この問題は発生しません。AC スイッチがオンの状態のときに、AC 電源コードが一時的に引き抜かれた場合、または AC ブレーカーへの AC 電源が一時的に絶たれた場合に、この問題は発生します。

電源ユニットに問題がない場合は、以下の方法で復旧できます。

1. 電源ユニットの AC 電源を復電させます。
2. 電源ユニットの電源スイッチをオフにします。
3. およそ 15 秒経ってから、電源ユニットの電源スイッチをオンにします。
復旧後は、電源ユニット前面にある AC Power LED と DC Power LED が点灯します。



注意 – 橙色のFault/Locate LEDが点灯している場合は、営業担当者または当社技術員へご連絡ください。

その他の既知の問題

表 1に、PCIボックスに関する未解決の問題を示します。

表 1 既知の問題

CR ID	説明	回避方法
6545639	PCI66MHz のカードはサポートしていません。	現時点では、有効な回避方法はありません。
6562020	snmp デーモンが終了する場合があります。	<code>setsnmp enable</code> コマンドを実行し、snmp デーモンを再起動してください。
6564649	電源ユニットが正しい内部温度を通知しない場合があります。	通知された温度が予想していた範囲を超えている場合は、複数の温度サンプルを採取して複数の数値の平均値を取ってください。 電源ユニットの温度を手動で表示する場合は、 <code>ioxadm env -t</code> コマンドを使用してください。 詳細については、 <code>ioxadm (8)</code> コマンドのマニュアルページを参照してください。
6582282	周辺温度が警告しきい値の場合は、メッセージが繰り返し出力されます。 <code>ereport.chassis.env.temp.otw</code> (メッセージが繰り返されます。) ... <code>showlogs(8)</code> でのメッセージ: Msg: High temperature warning	周辺温度が最大、または最大を超えた (38°C/100°F) 場合は温度を下げてください。 注 – 周辺温度は電源ユニットの挿入口で測定されます。 周辺温度が、最大値を連続的に上下している場合は、複数のメッセージが出力されます。 周辺温度が最大値を超えたあと、最大値を上下しない場合は、メッセージが 1 回出力されます。

表 1 既知の問題 (続き)

CR ID	説明	回避方法
6600214	<p>PCI ボックスの、両方の電源ユニットの電源スイッチがオフの状態から、1つの電源ユニットの電源スイッチをオンにすると、chassis overtemperature LED が誤点灯 する場合があります。</p> <p>さらに、ドメイン起動後数分してから、以下のどちらかまたは両方のメッセージが出力される場合があります。</p> <pre>ereport.chassis.i2c.nresp</pre> <p>または</p> <pre>ereport.chassis.env.temp.otw</pre> <p>showlogs(8) でのメッセージ:</p> <pre>Msg: TWI access error (code=1707)</pre> <pre>Msg: TWI access error (code=1709)</pre> <p>または</p> <pre>Msg: High temperature warning</pre>	<p>以下の手順で復旧してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 影響するドメインの電源を切断します。 • PCI ボックス前面の、両方の電源ユニットの電源スイッチをオフにします。 • 両方の電源ユニットのDC Power LEDが消灯したら、2本のAC電源コードを引き抜きます。 • 10秒以上経過したら、2本のAC電源コードを再接続します。 • PCI ボックス前面の、両方の電源ユニットの電源スイッチをオンにします。 • 影響するドメインの電源を投入します。 <p>復旧できない場合は、営業担当者または当社技術員にご連絡ください。</p> <hr/> <p>注 - ereport.chassis.env.temp.otw(Msg: High temperature warning)が出力された場合は、温度異常が発生していることも考えられます。ioxadm env -t コマンドを実行して、PCI ボックス内の温度を確認してください。</p>
6660119	<p>電源ユニットの電源スイッチがオンの状態でAC電源コードを引き抜くと、電源ユニットのFault/Locate LEDが点灯し、ホストサーバから以下のようなエラーメッセージが出力される場合があります。</p> <pre>ereport.chassis.device.fan.tooslow</pre> <pre>ereport.chassis.power.ovf</pre> <pre>ereport.chassis.power.ocf</pre> <pre>ereport.chassis.power.otf</pre> <pre>ereport.chassis.power.ocw</pre> <pre>ereport.chassis.power.sw-off</pre> <pre>ereport.chassis.power.ac-warn</pre> <p>showlogs(8) でのメッセージ:</p> <pre>Msg: Low rotation error</pre> <pre>Msg: Over voltage failure</pre> <pre>Msg: Over current failure</pre> <pre>Msg: High temperature failure</pre> <pre>Msg: Over current warning</pre> <pre>Msg: Switch is turned off</pre> <pre>Msg: Low input voltage</pre>	<p>営業担当者または当社技術員にご連絡ください。</p> <hr/> <p>注 - AC電源コードを引き抜く前に、該当する電源ユニットの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。両方の電源ユニットの電源スイッチがオフの状態ではAC電源コードを引き抜く場合には、片方だけではなく、両方のAC電源コードを引き抜いてください。</p>

解決済みの問題

表 2は、ハードウェアまたはソフトウェアのアップデートによって解決済みの問題を示します。

注 - 表 2の2列目は問題自体が解決されるアップデート版を示します。

Bridge ControllerおよびFan Controllerファームウェアのバージョンを確認する場合は、『PCIボックス インストール・サービスマニュアル』を参照してください。

表 2 解決済みの問題

CR ID	解決時期	説明	回避方法
6510888	XCP1041	リンクカードで以下のメッセージが出力される場合があります。 ereport.chassis.env.temp.utw showlogs(8)でのメッセージ: Msg: Low temperature warning	このエラーは無視しても差し支えありません。 現時点では、有効な回避方法はありません。
6524588	ドライバパッチ 914568-02	ギガビットイーサネットカード (SE0X7GQ1*, SE0X7GD1*, SE0X7GD2*) の高負荷動作時に、割り込みの通知に失敗することがあります。	ドライバパッチを適用してください。
6555583	Bridge Controller Firmware 2.4 + XCP 1050	動作中のシステムでリンクケーブルが切断されると、再接続してもリンクが復旧しません。	影響するドメインの電源を再投入してください
6557227	Bridge Controller Firmware 2.1	ドメインの電源が切断されても、そのドメインに接続された PCI ボックスの電源が切断されない場合があります。	ドメインの電源が落ちたのち、PCI ボックスの電源を手動で切断してください。
6559504	Oracle Solaris 10 8/07	nxge ドライバの (「nxge_ipp_eccue_valid_check」) の FMA エラーメッセージの表示が繰り返されます。	このエラーメッセージは無視しても差し支えありません。

表 2 解決済みの問題 (続き)

CR ID	解決時期	説明	回避方法
6562085	Fan Controller Firmware 2.2	I/O ポートが正しい内部温度を通知しない場合があります。	通知された温度は無視してください。 正しい温度を表示させたい場合は、PCIボックスをリセットしてから、以下のコマンドで温度を表示してください。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>ioxadm reset target</code> • <code>ioxadm env</code> 詳細については、 <code>ioxadm (8)</code> マニュアルページを参照してください。
6563777	Fan Controller Firmware 2.4	I/O ポートが抜かれ、再度 PCI ボックス内に挿入された場合、サーバから以下のエラーメッセージが出力される場合があります。 <code>ereport.chassis.device.link-down</code> <code>ereport.chassis.i2c.nresp</code> <code>ereport.chassis.i2c.intr-fail</code> showlogs(8) でのメッセージ: Msg: Link Error Msg: TWI access error (code=1701) Msg: TWI access error (code=1706) Msg: TWI access error (code=1B01)	<code>ioxadm reset target</code> コマンドで PCI ボックスをリセットしてください。
6564631	XCP 1060	<code>showstatus</code> コマンドは、PCI ボックスに関する故障を表示しません。	有効な回避方法はありません。
6564658	XCP 1050	リンクカードで以下のメッセージが出力される場合があります。 <code>ereport.chassis.env.tmp.utw</code> showlogs(8) でのメッセージ: Msg: Low temperature warning	このエラーは無視しても差し支えありません。 現時点では、有効な回避方法はありません

表 2 解決済みの問題 (続き)

CR ID	解決時期	説明	回避方法
6565649	XCP 1050	システム起動時に、PCI Express I/O ポートが認識できない場合があります。 ereport.chassis.power.uvf showlogs(8) でのメッセージ: Msg: Under voltage failure	I/Oポート交換の依頼を営業担当者または当社技術員にご連絡ください。 交換するまでの間、I/Oポートの電源が自動的に投入されない場合は、以下の手順で復旧してください。 復旧後も、I/OポートのFault/Locate LEDが点灯されたままになることがあります。I/Oポートは通常どおり稼働しています。 <ul style="list-style-type: none"> 影響するドメインの電源を切断します。 PCI ボックスの電源を切断します。 PCI ボックスの電源を再投入します。 影響するドメインの電源を投入します。 復旧できない場合は、営業担当者または当社技術員にご連絡ください。
			注 - XCP1050以降で以下のメッセージが出力された場合は、営業担当者または当社技術員にご連絡ください。 Msg: Under voltage failure
6568364	XCP 1050	prtfriuコマンドで、PCIボックスのいくつかのステータスフィールドを表示しません。	現時点では、有効な回避方法ははありません。
6572281	XCP 1050	システム起動時またはシステム再起動時に、以下のメッセージが出力される場合があります。 ereport.chassis.i2c.intr_fail showlogs(8) でのメッセージ: Msg: TWI access error (code=1B0x) x:1から5までの整数	割り込みが発生しているかどうかを確認するには、ioxadm(8)コマンドでFault/Locate LEDを点灯してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> LEDが点灯する場合は、割り込みが正常に動作しています。エラーメッセージは無視しても差し支えありません。 LEDが点灯しない場合は、割り込みが正常に動作していません。営業担当者または当社技術員へご連絡ください。

ホットプラグ操作に関する注意事項

PCIボックスにSingle/Dual channel 4Gbps Fibre Channel card

(SE0X7F11F/SE0X7F12F) が搭載されている場合、リンクカードに対するホットプラグ (PHP) 操作によってPCIボックスの切り離し/組み込みを行うときは、組み込み後に、PHP操作で、SE0X7F11F/SE0X7F12F自体を組み込む必要があります。PHP操作を行わない場合は、SE0X7F11F/SE0X7F12Fが認識されません。

なお、Dynamic Reconfiguration (DR) 操作によってPCIボックスの切り離し/組み込みを行うときには、上記のPHP操作は必要ありません。

マニュアルの変更予定

『PCIボックス インストレーション・サービスマニュアル』は2010年12月に改版されました。現時点で、追加となる変更箇所はありません。